



karma
Adults Only

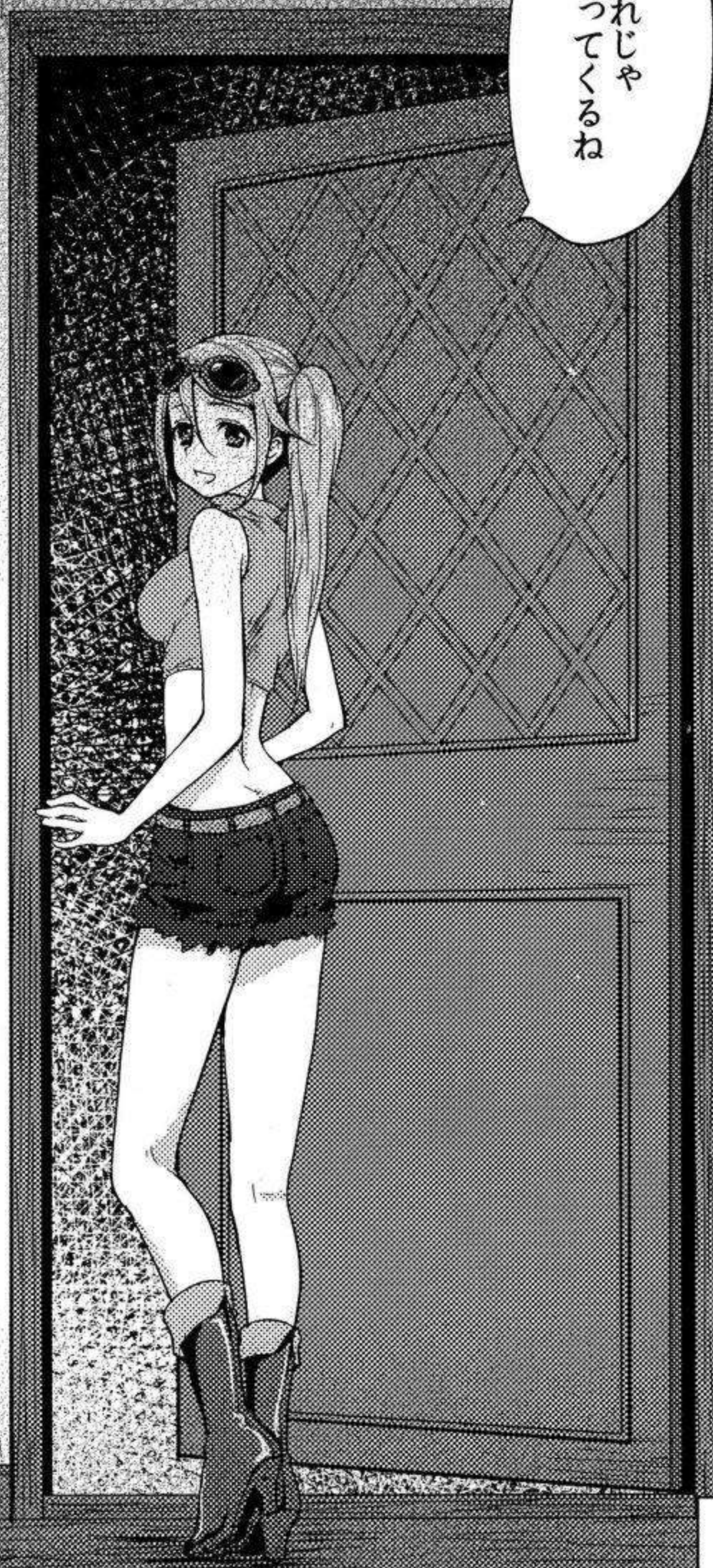
それじゃ
いつてくるね

”糸、買ってくるね”
—そう言つてカナエが
出て行ったのは
午後5時頃だった

よく晴れた日で
開けた窓から入り込んだ
夕日がやけに眩しかったのを
よく覚えてる

宿に残ったオレは
次の探索の準備をしながら
帰りを待っていた

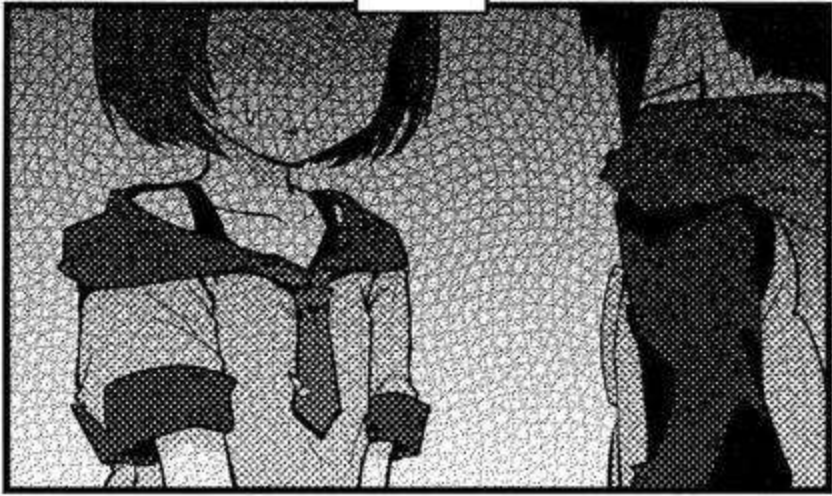
日が落ちて……
飯時をとつくに過ぎて
深夜になつても
カナエは戻つてこなかった



どこを探しても
見つからず

何の手がかりも
得られないまま
二日が過ぎた

そして三日目





おかえりなさい



ソレはこの台詞だ!

今までずっと何してたんだよ!



どこに行ってたの?
ご飯は?

カナエ...

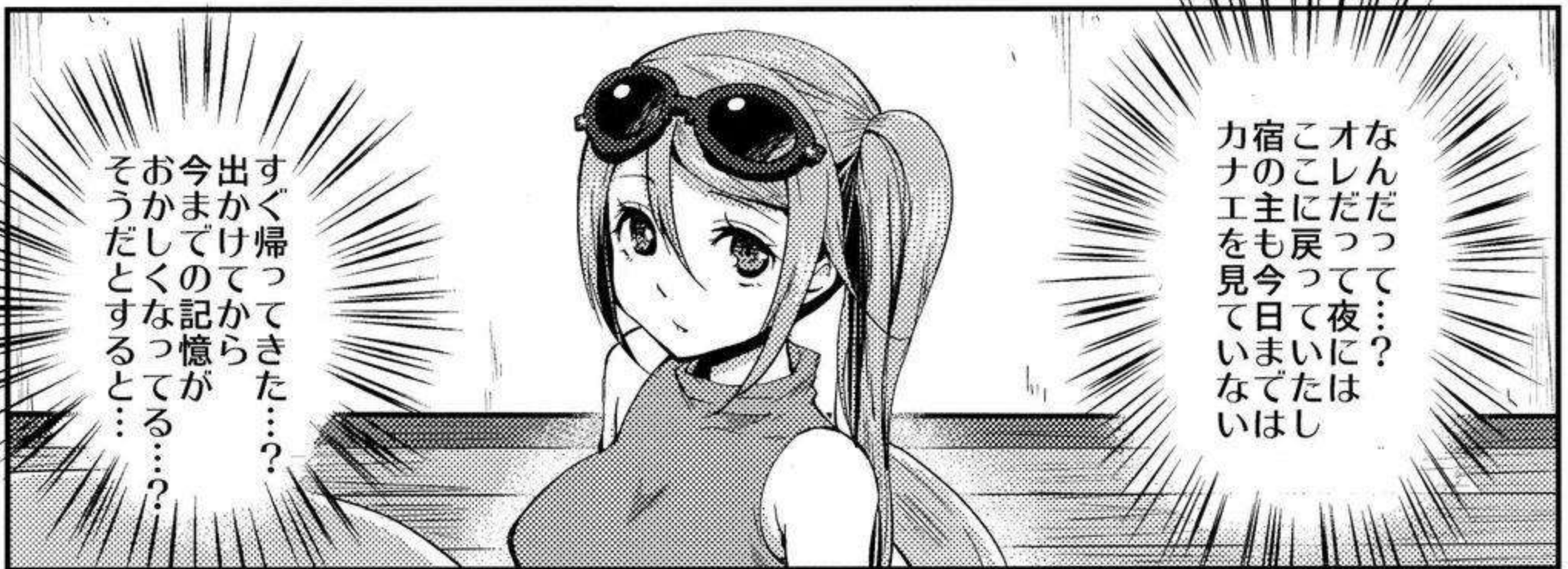


え...?

どうすれば買い物に二日もかかるんだよ!
オレは心配で街中走り回って...!



何言ってるのアガタ？
アタシはすぐに
帰ってきたじゃない



なんだって…？
オレだって夜には
ここに帰っていたし
宿の主も今日までは
カナエを見ていない

すぐ帰ってきた…？
出かけてから
今までの記憶が
おかしくなってる…？
そうだとすると…



だからオレは
ずっとカナエのこと
探してたんだ…
…うそ…
…嘘じゃない
本当だ



カナエは一昨日
買い物に行つたまま
今日まで戻って
来なかった…



…違う
考えたくもないが…



宿を出て…
お店に行つて

ちやんと
まっすぐ
帰つて
きたのに…

…カナエ!?



痛ッ…!



…嘘でしょ?

…ねえ
アタシは…



…二日も経つてる
なんて冗談だよな?

アガタ…

オイ!

なにも
なかつたの…
なにも…!

しつかりしろ!
もういい!

カナエ!
顔あげろ!



アガタあ…

記憶の混濁…



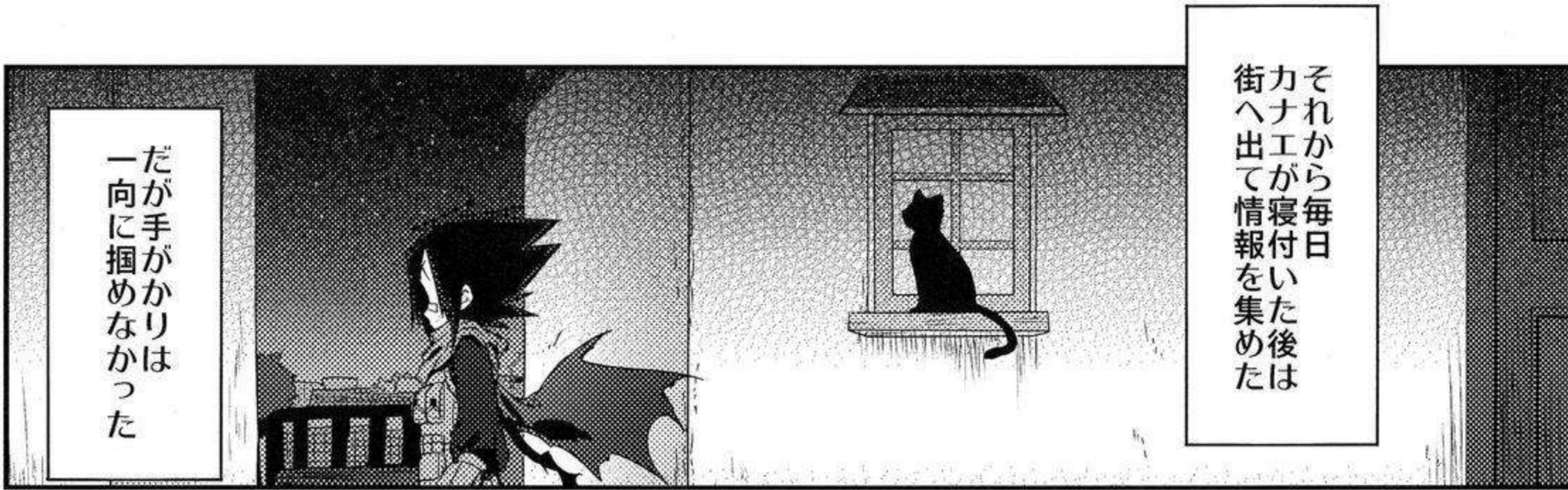
何だよ…

これじゃあまるで

十年前と…

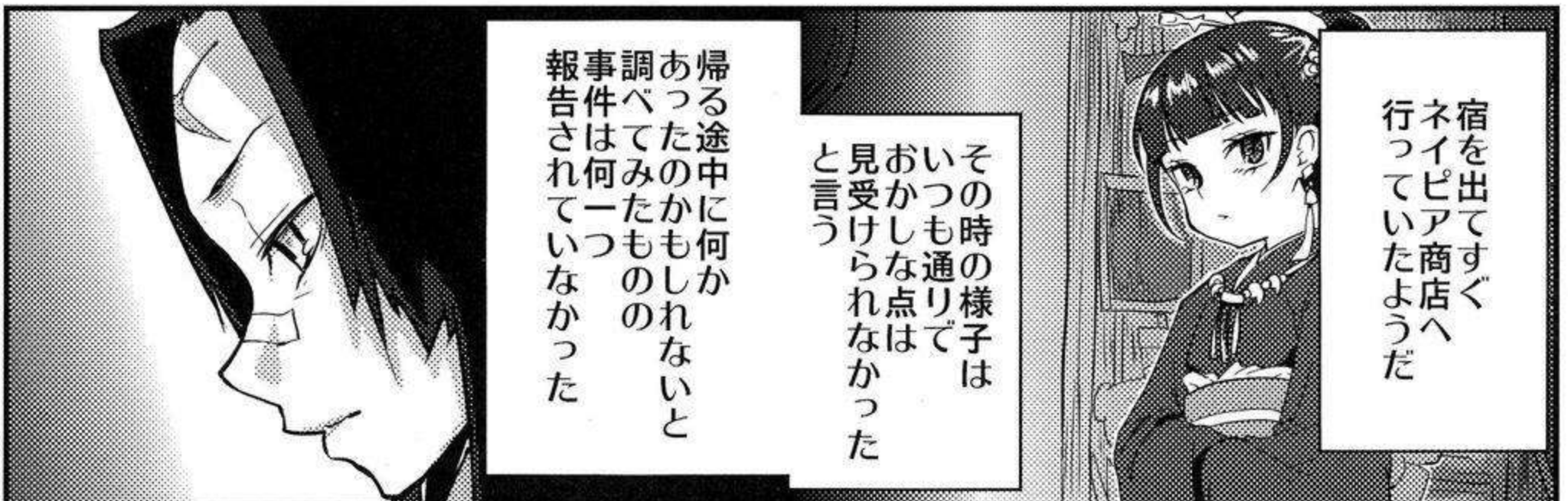
ごめんなさい…

カナエ…!



それから毎日
カナエが寝付いた後は
街へ出て情報を集めた

だが手がかりは
一向に掴めなかった



宿を出てすぐ
ネイピア商店へ
行っていたようだ

その時の様子は
いつも通りで
おかしい点は
見受けられなかった
と言う

帰る途中に何か
あったのかもしれないと
調べてみたものの
事件は何一つ
報告されていなかった



オオ!
丁度イイ
タイミングで
来たナ!

カランカラン



コツチにコイ!
依頼のハナシダ!

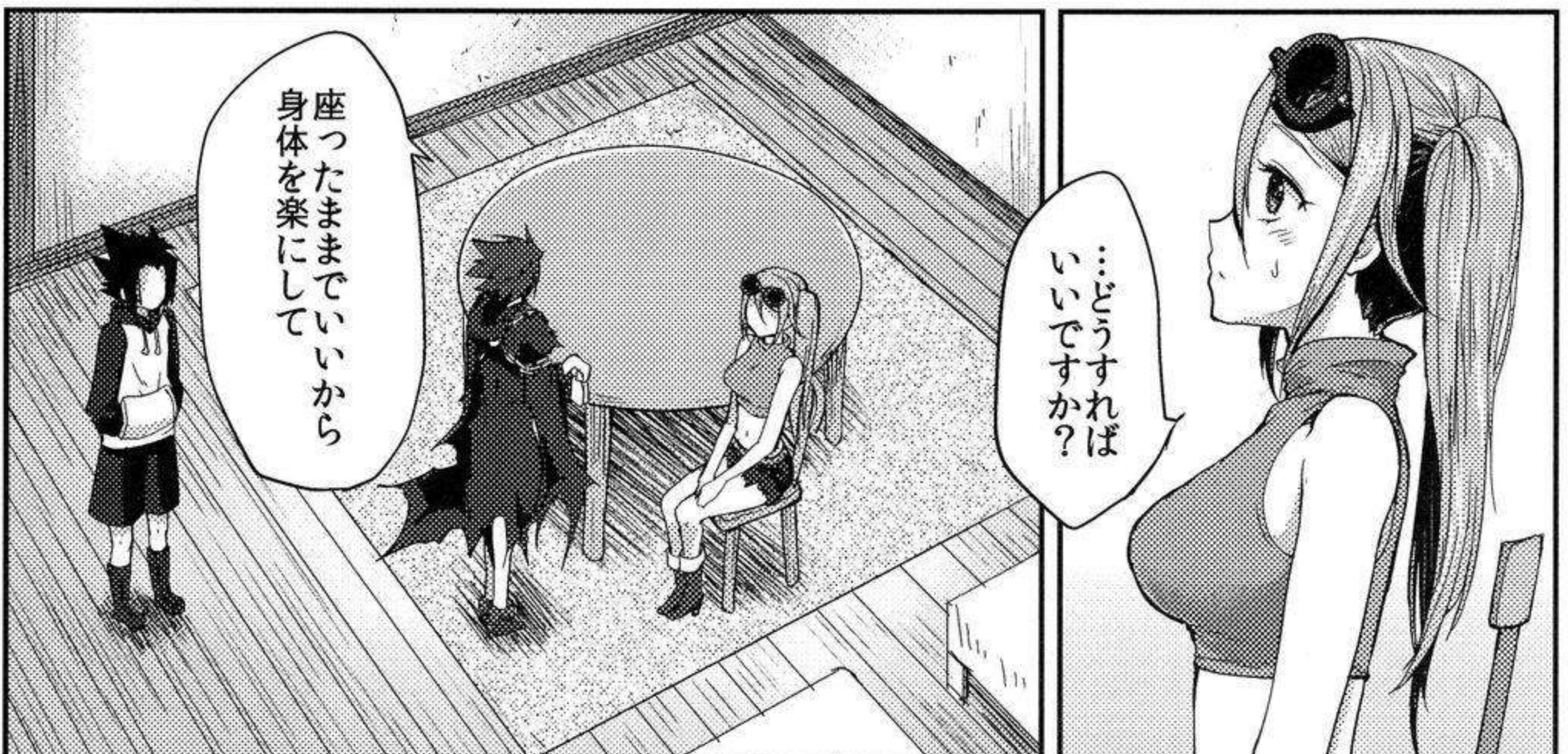
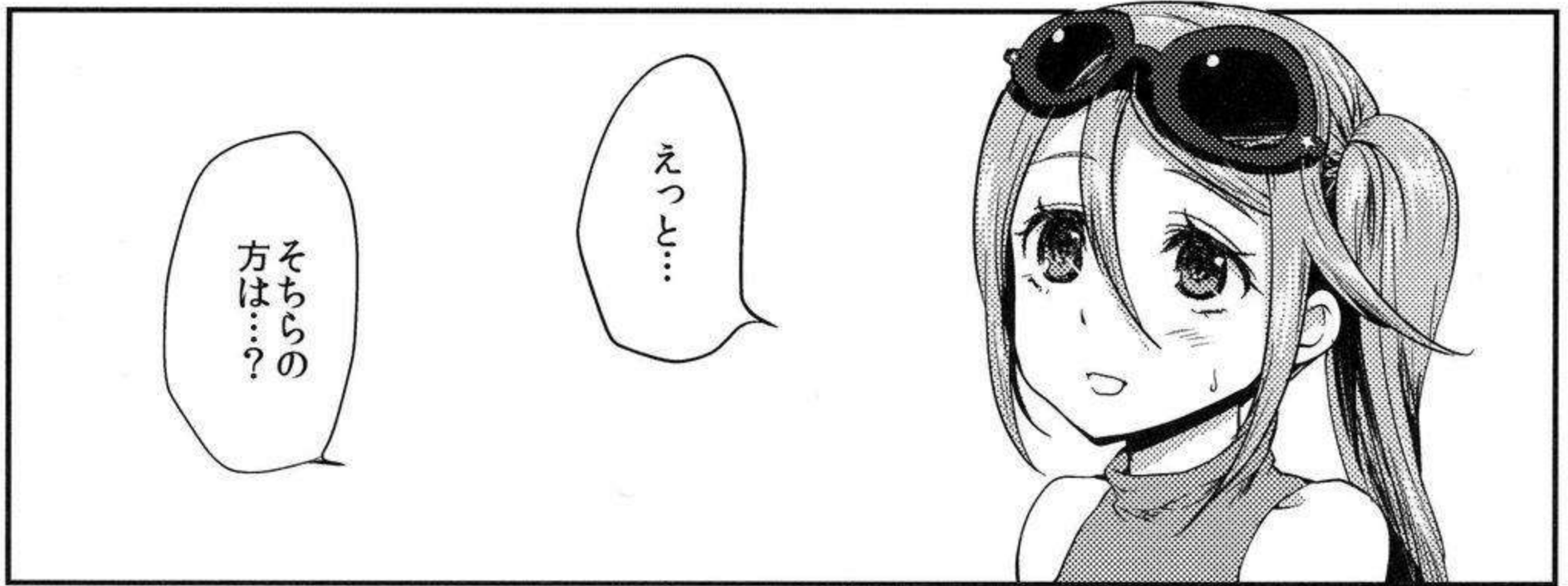


藁にもすがる思いで
羽ばたく蝶亭に
依頼を出した

事情を話すと女主人は
少し考え込んだ後
『マカセロ』と言って笑った

何が来るのか
想像がつかない...







ボク的能力は
精神の深層に訴えて
他人を意のままに操る
事ができる

…だから記憶を
引き出したり
消去することも出来る

ああ

…聞いて
どうするつもり？

双方の心的負担は
とても大きい

何があっても
受け止める
覚悟はある？

ある

オレはカナエを
救いたい

悲しいことにも
一緒に向き合って
乗り越えたいんだ

…そう

後悔しない？

勿論だ

わかった
依頼を受けるよ



ゆいゆいゆい

思い出して

聞かせて…



ゴク



アタシ…



あの日
あなたが宿を出てから
何があつたのか



あの日は糸を買いに
ネイピア商店まで
行きました

無事手に入れることは
出来ましたが帰る途中…



路地裏に
引きこまれて…

花の蜜みたいな
妙な香りの物を
嗅がされました



咄嗟に
振り払う事は
出来ましたが

身体が上手く動かなくて
脚がもつれてしまつて…

それから…





薬は効いてるが
逃げねえようにな

連れて行かれた先は
木造小屋でした

無理無理
逃げられた
奴なんて今まで
居なかつただろ

.....

ちやんとツラ
拜ませてくれよ

クイッ

初めてその時
顔を見ました
二人とも
知らない人でした

いいねー
このオドオドした顔

もう瞳が
トロンとしてきて
やがるよ

完全に雌の顔に
なってやがる

あの...



相当効いてるな

やつ…
やだあ!

ただ荒々しく
揉まれただけなのに…

頭が真っ白になるくらい
強い感覚でした



オイオイさつさと
やつちまおうぜ
あいつら帰って
きちまうよ

逃げようなんて
思うなよ
魚の餌に
なりたくなくや
大人しくしてな

そんな
おつかねえこと
言うなよ
余計な力が
入っちゃうだろ?

オイ



美味そうな色
してんじやねーか
男好きする身体に
生まれて良かったな

よっ

たぶんっ



たぶんっ

たぶんっ



さらにコイツを
こんな風によ...



すっげー
ゾクゾクするだろ？

たぶんっ

たぶんっ



こやうー!

何で:
うそ!

たつぷり
やつりからよ



アアアアアア

アアアアアア

アアアアアア



そら見る乳首だけで
イキやがったよ!

薬使つても普通
こうはなんねえぞ?

コイツは
根つからの
好きモンだの

はっ
はっ



ちがっ
ちがっ

どう違うんだ?
答えてみるよ

恐怖で頭がいっぱいで
何も出来ませんでした

コッチはてめえの
イキ顔拝んでんだよ

嘘ついてねえか
チエツクしてやるよ

たの

カチカチ

カチカチ

精一杯暴れてみる
出来るもんならな

不思議なくらい
頭がぼんやりして
鼓動が早くて！

やあ

やあ

やめて…

無理に
決まってる
だろー

やっぱりマンコ
ぐちよ濡れじゃねーか

乳首イキ出来て
嬉しかったんだろ？

ま…俺は
ソツチよりも…

やっぱ
コツチ
だよなア

やだっ
そこは…



粘膜直塗りは
強烈だろ？

やっぱり泣いてる顔は
ソッるわー

っ……

どうすりゃいいか
わかんたろ？

Wゼー

ボサツとすんな
さつさと口開ける

…何だ？
もつとお菓
欲しいってか？

てひひ



おっおっ
ひひひ

は、
そうそう
ちやんと
舌だせよ



は、

ただ買物
するたに
外に出た
たのため
たのだけ
にけ

まるで悪い夢を見て
いるようでしたか…

裏筋もしつかりな



ぐわん
ぐわん
ぐわん

ぐわん
ぐわん
ぐわん

ぐわん
ぐわん
ぐわん

ぐわん
ぐわん
ぐわん

ぐわん
ぐわん

上手いもんだ
まさにロマンユだな
こりや

だけど
そんな事はなくて





あーあーあー

ハハッ
すげえ声

そーら
入っちゃうぞー

ビクッ

ビクッ

ガク
ガク

ガク

ビクッ



チンポ欲しくて
たまんなかったんだろ？

凄く嫌なのに

おかしく
なりそうな程
全身が熱くて
溶けそうで…

たっぷり味わいな

あーあーあー



気持ちいいぜえ
姉ちゃんの尻穴はよ

キツツキツで
いい締めまりだ

腰突き出せ

もつと深く
挿入れてやるからよ

さつさと
俺にまわせよ

へいへい



カリが引つかかって
気持ちいいだろ？

ん？

おっおっ!!

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

こんだけマン汁
たらして
何言ってるんだよ

仕方ねえな

はぁ

はぁ

はぁ



素直になれるように
もつと楽しませてやるよ

そらヤツちまえ

待ってました！

はぁ

はぁ

ヒクヒク
してんじゃねーかよ
物欲しそうにしやがって

はぁ

はぁ

あーっ

ちよつと
触っただけで
感じまくってるよ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

プチ込んだら
どうなるんだか...



何だ
ビツチくせえ
格好のクセに

随分絞まりが
いいんだな

もつと男の味を
覚えるんだな!

見た目の割りに
真面目なのか?

こんな身体
持て余してちや
勿体ねえぞ

こんな風によオ!

前も後ろも一緒に犯されて
息もできないくらい...

か

カ
カ
カ

か

お
お
お

お
お
お

お
お
お

お
お
お

ん

ん



こいつあいい身体だな
すっかり悦んじまってる

もうずっと
頭が真っ白で...

調教してやれば
どんな要求でも
受け入れるようになるぞ

変態野郎の
肉奴隷向きだ



良かったなあ
これからまだまだ
増えるからよ

もう薬はいらねえな
身体がチンポを
欲しがってやがる



乳首もすつかり
開発されちまったな



そろそろ一発目
出してやるからよ

好きな男のことでも
考えながら受け止めな

孕んじまうかも
しれねえけどよ!



好きでもねえ
男とキスしたって
喜ばねえだろうよ
流石に...



舌出せ

気分盛り上げて
やつからよ



うおおッ!?



こりやもう
合意の上だよな

すっげえ
締まったぞ

マジかよ
悦んでんのか!?

そらいクぞ
腹一杯にしてやる



クワッ

ガッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ



ガキ

オイオイ
何だもう
お楽しみ中か？

結構いい体
してんだろ？

あー
あー
あー



肌も吸い付くみてえで
いい具合だぜ

おっと

あー
あー



悪いな射精ちまったよ
お前が突然
イツちまうせいでな

俺達も溜まってるから
ちゃんと相手してくれよ

久しぶりだから
抑えられねえよ
ハハハッ

それから更に
三人増えて



出すぞ
オラッ!



何やってんだ
ちゃんと飲め



ハハハ
潮吹いてやがんぜ
コイツ

そんなに好きなのか
もつと飲ませてやるよ





なんか大人しく
なっちまったじ
俺らも休憩すつか

ふー
グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

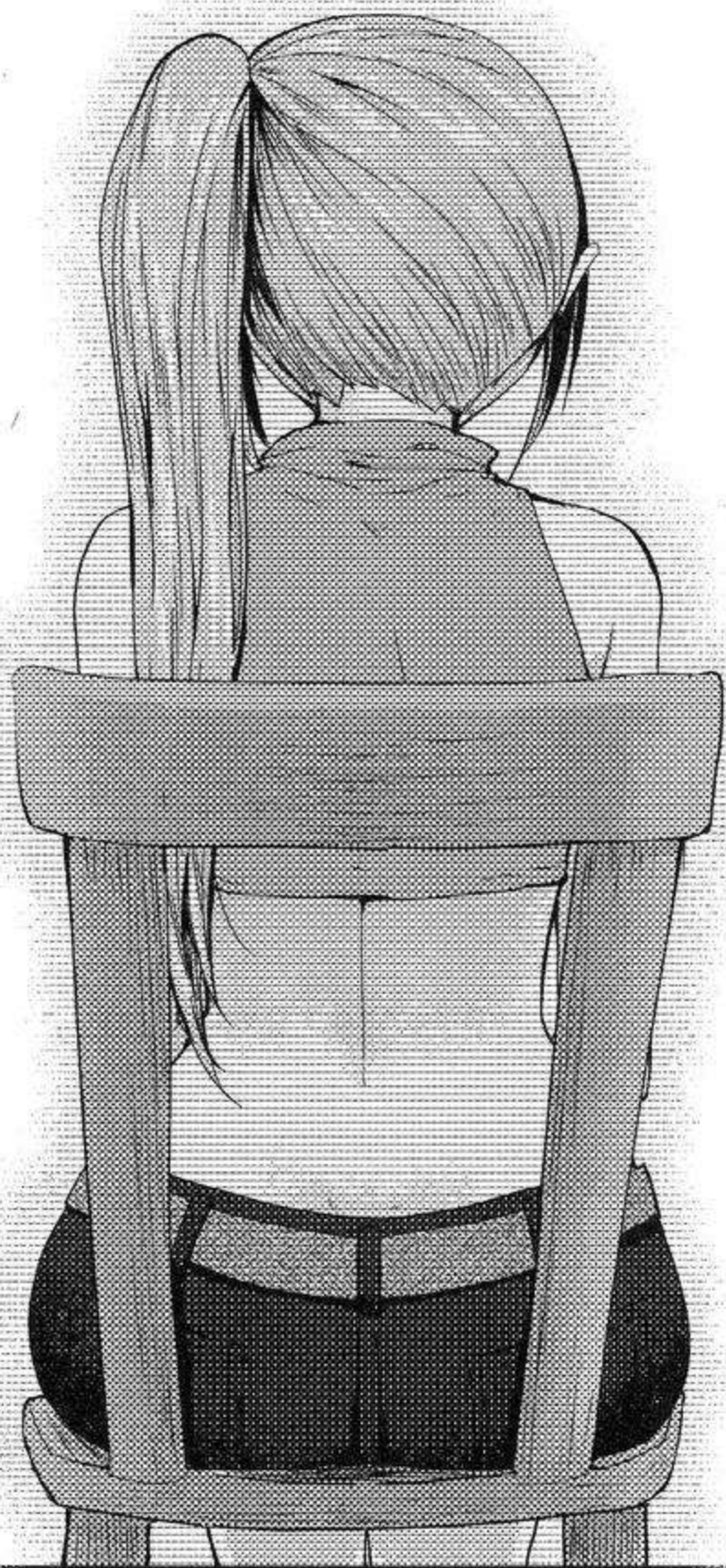
じゃあ
酒場にでも
行こうぜ
コイツ
どうするよ?

どうせしばらくは
動けねえだから
転がしておけ



それまで
大人しくしてな

戻つたらもつと
イイコトして
遊んでやるからよ
キ
イ



：扉は外から
鍵がかけられていたの
窓から外へ出ました

気づかれぬように
布をかぶつて
一目ではアタシだと
わからないようにして…



幸いそこは浜の近くの
倉庫街にあったので

岩場に隠れながら
海で身体を
綺麗に流して…





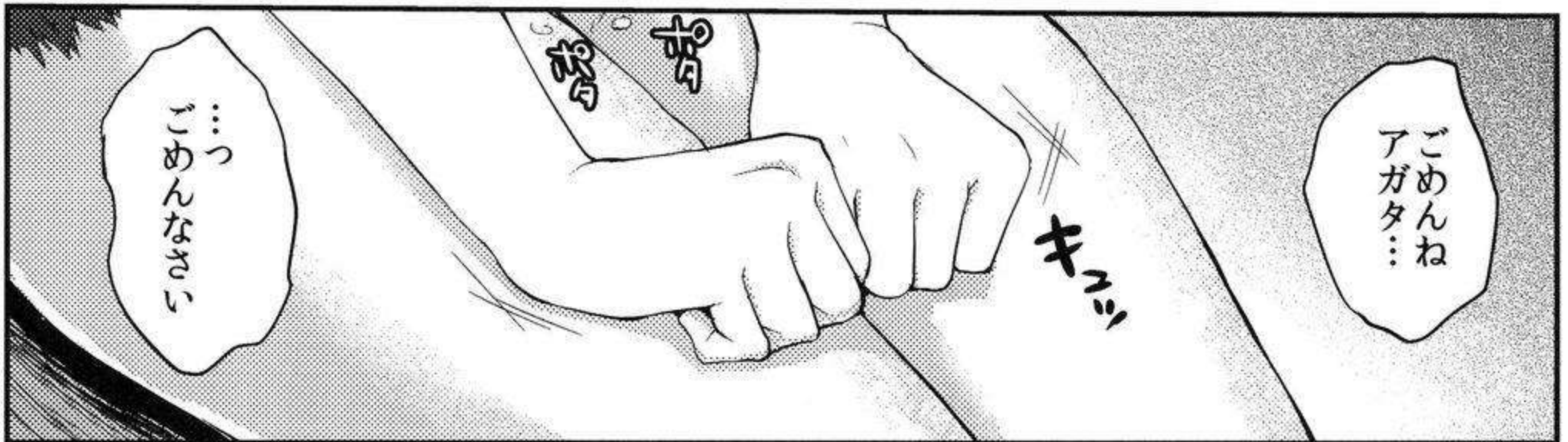
アガタと一緒に
いたいです…



……
忘れたいです…

おっ…
犯された
アタシを消して…

されたことも…
その人たちのことも
全部忘れて…



ごめんね
アガタ…

……
ごめんなさい



自分自身が
恥ずかしくて
情けなくて…

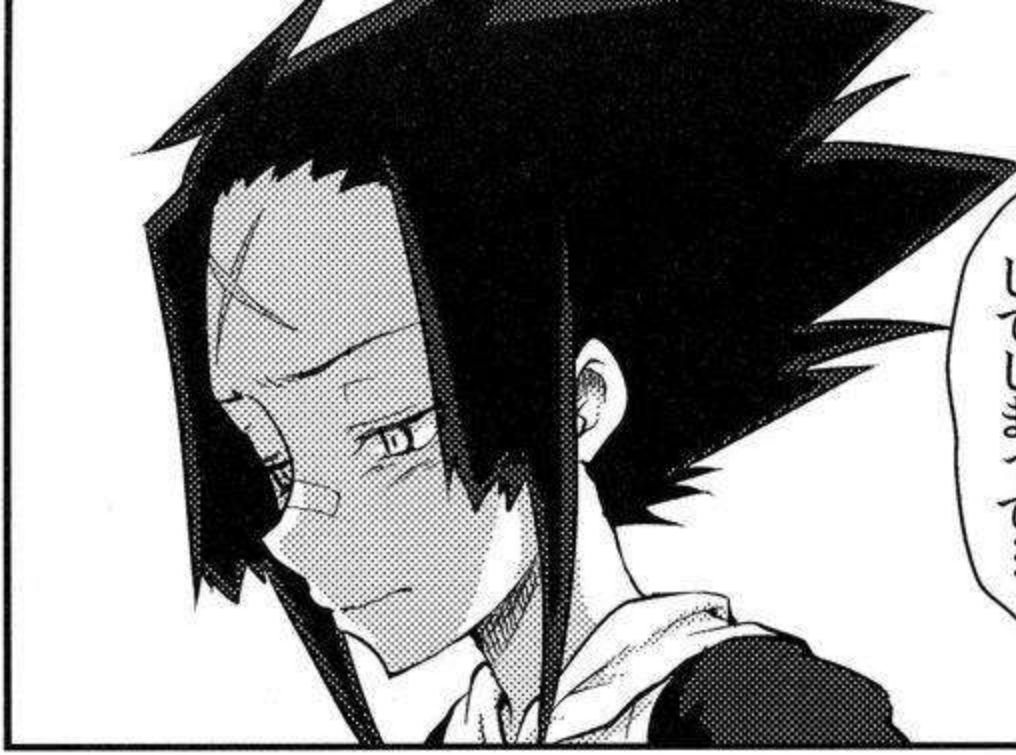
…話そうか
悩んだんです…
でも…アガタには
言いたくなくて…

アガタにだけは
嫌われたく
ないからっ…!!

アガタに
拒絶されたら
アタシ……!!

だけど……
ズルして隠しても
された事が
なかった事には
ならないのに……

本当に
悪いことを
してしまった……

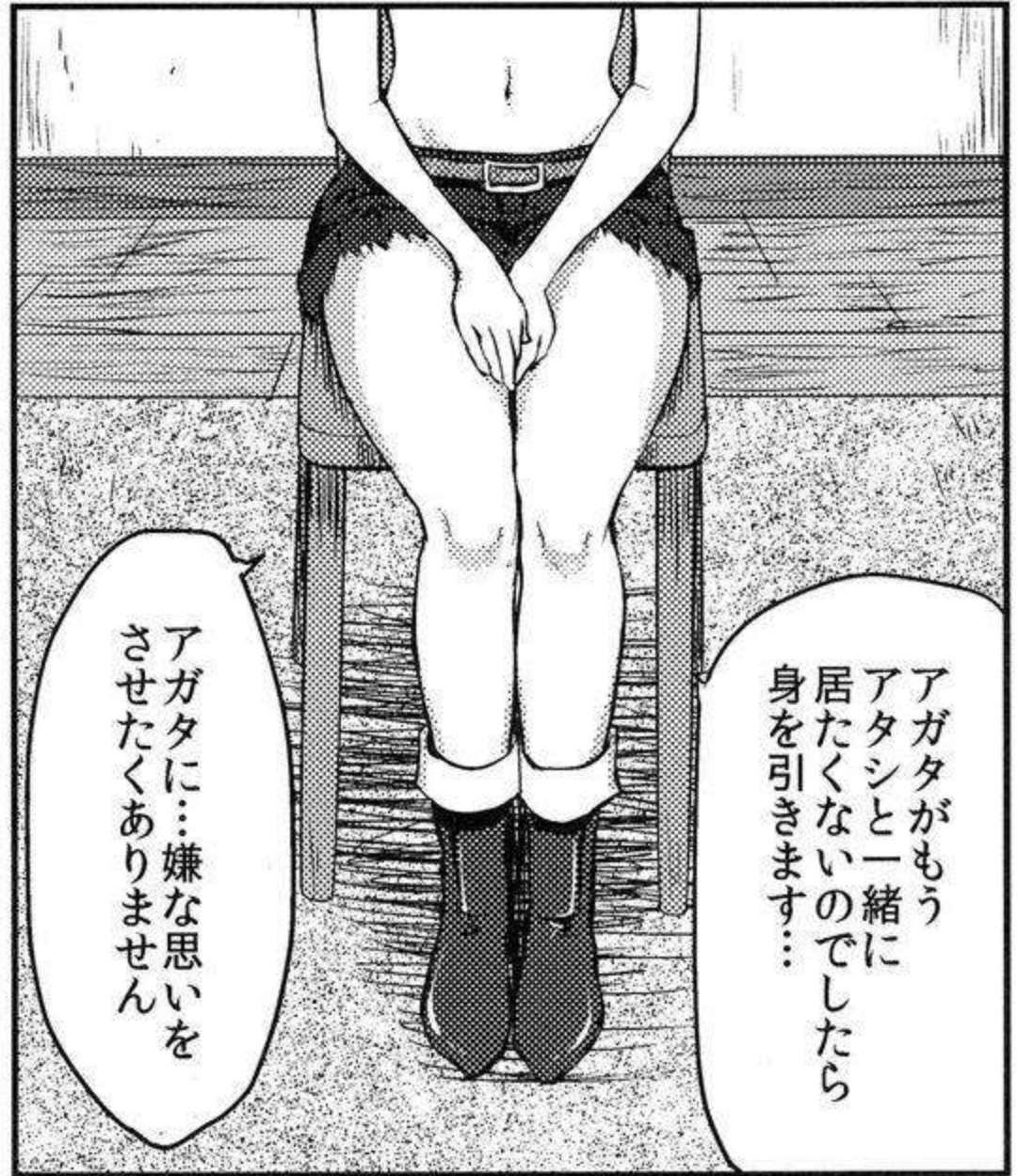


……わかった
ありがとう



アガタがもう
アタシと一緒に
居たくないのでしたら
身を引きます……

アガタに……嫌な思いを
させたくありません



君は
どうする？

……ちよつと
聞きたいん
だけどさ



オレの声は
カナエに
聞こえるか？

聞こえない
何かあるのなら
ボクが代弁する

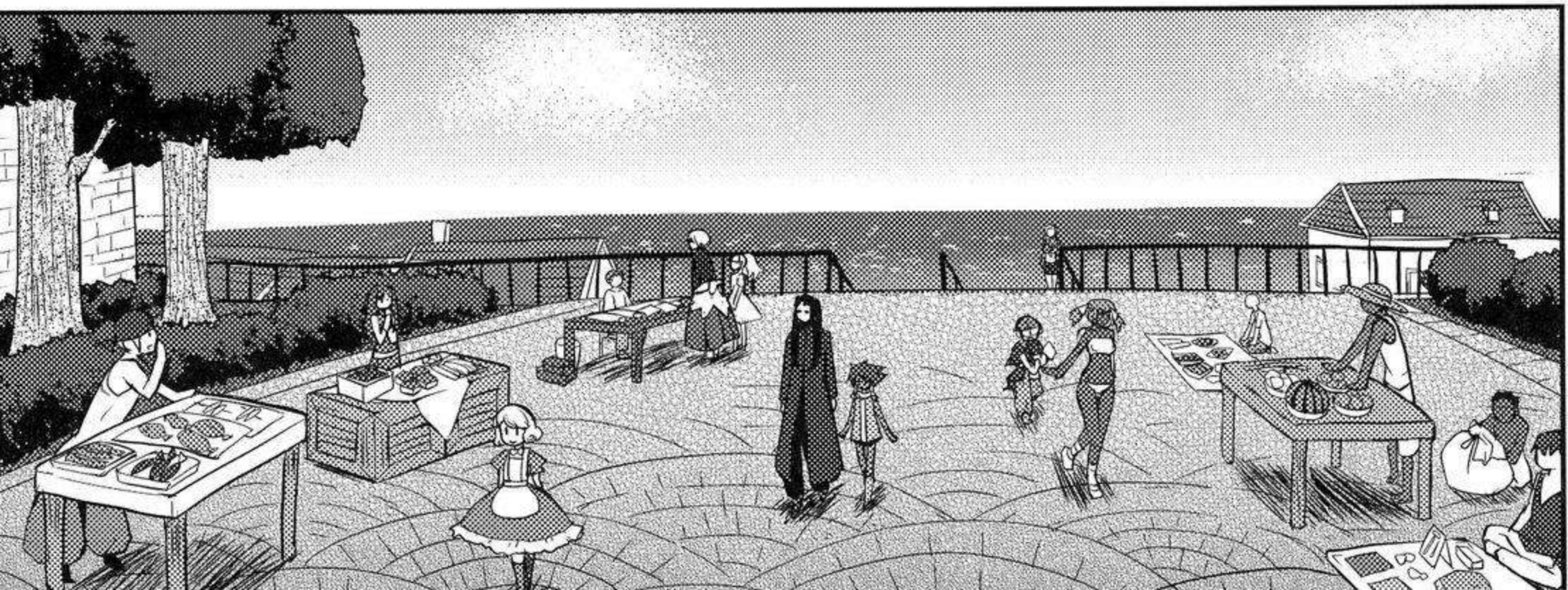
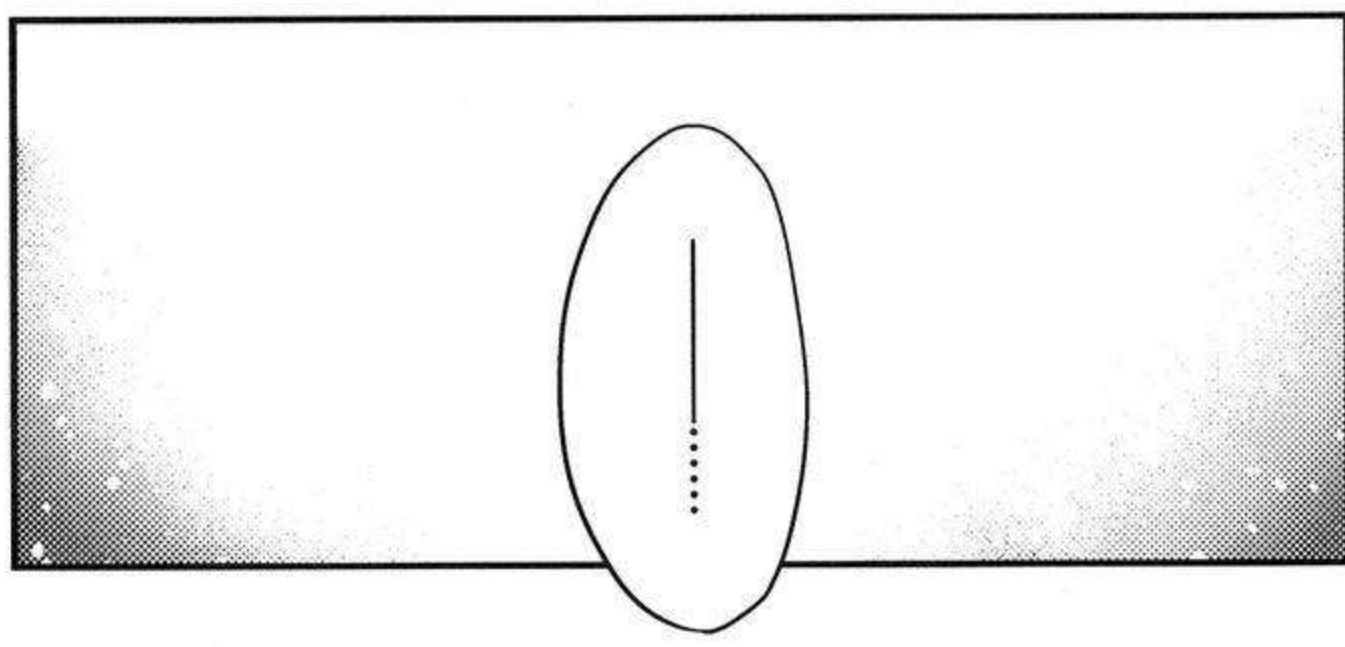




今から言うことを
伝えてくれ



…そうか…
それなら





旬だから甘いよー
カナエちゃんコレ
好きなんでしょ？

ハイ！

うんうん
元気でいいねえ

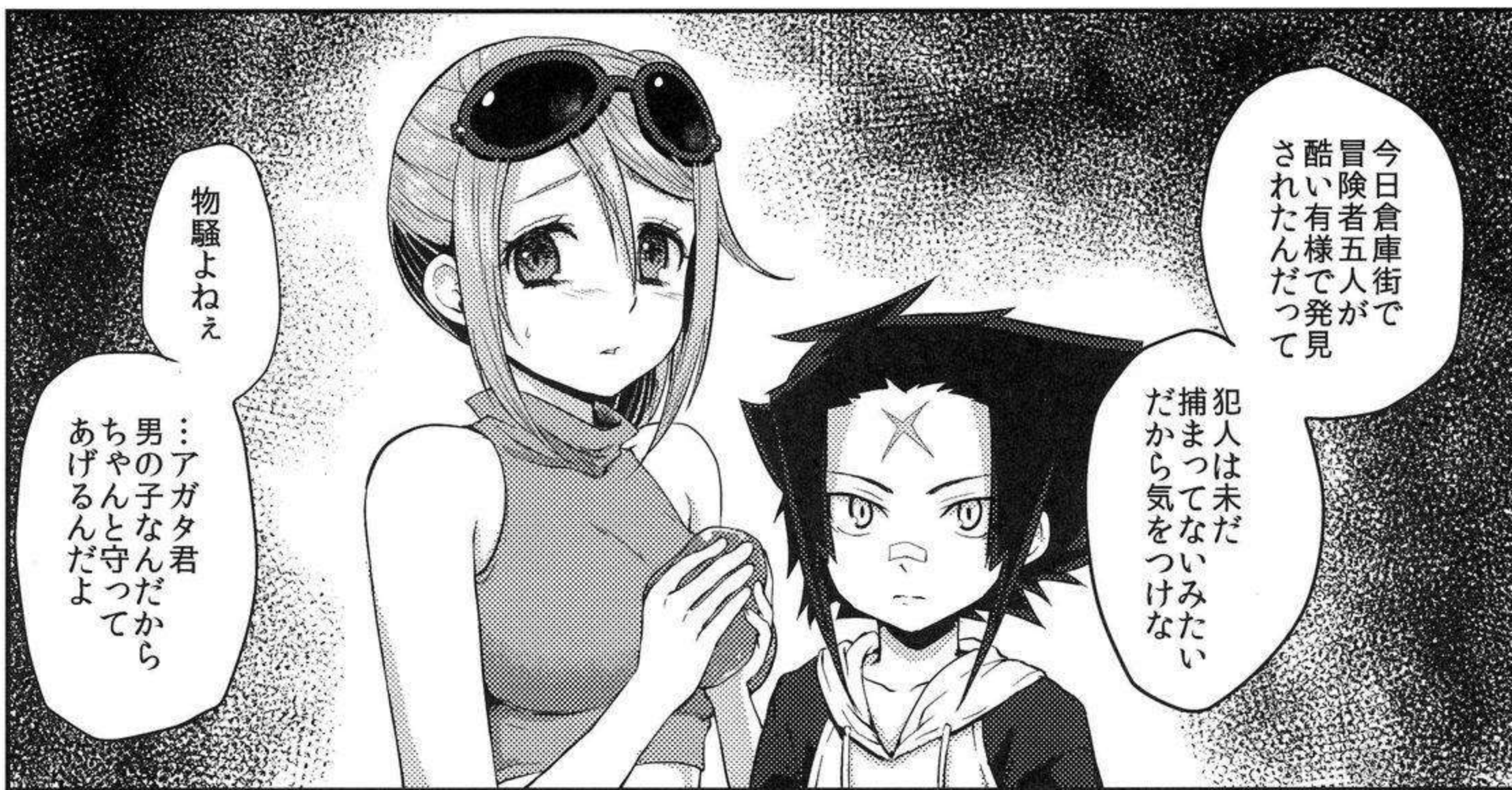


わあ！
美味しそう！



あっそうそう
二人共もう
知ってるかい？

何をです？



今日倉庫街で
冒険者五人が
酷い有様で発見
されたんだって

犯人はまだ
捕まっていけない
だから気をつけな

物騒よねえ

：アガタ君
男の子なんだから
ちやんと守って
あげるんだよ



…ちよっと
怖いね

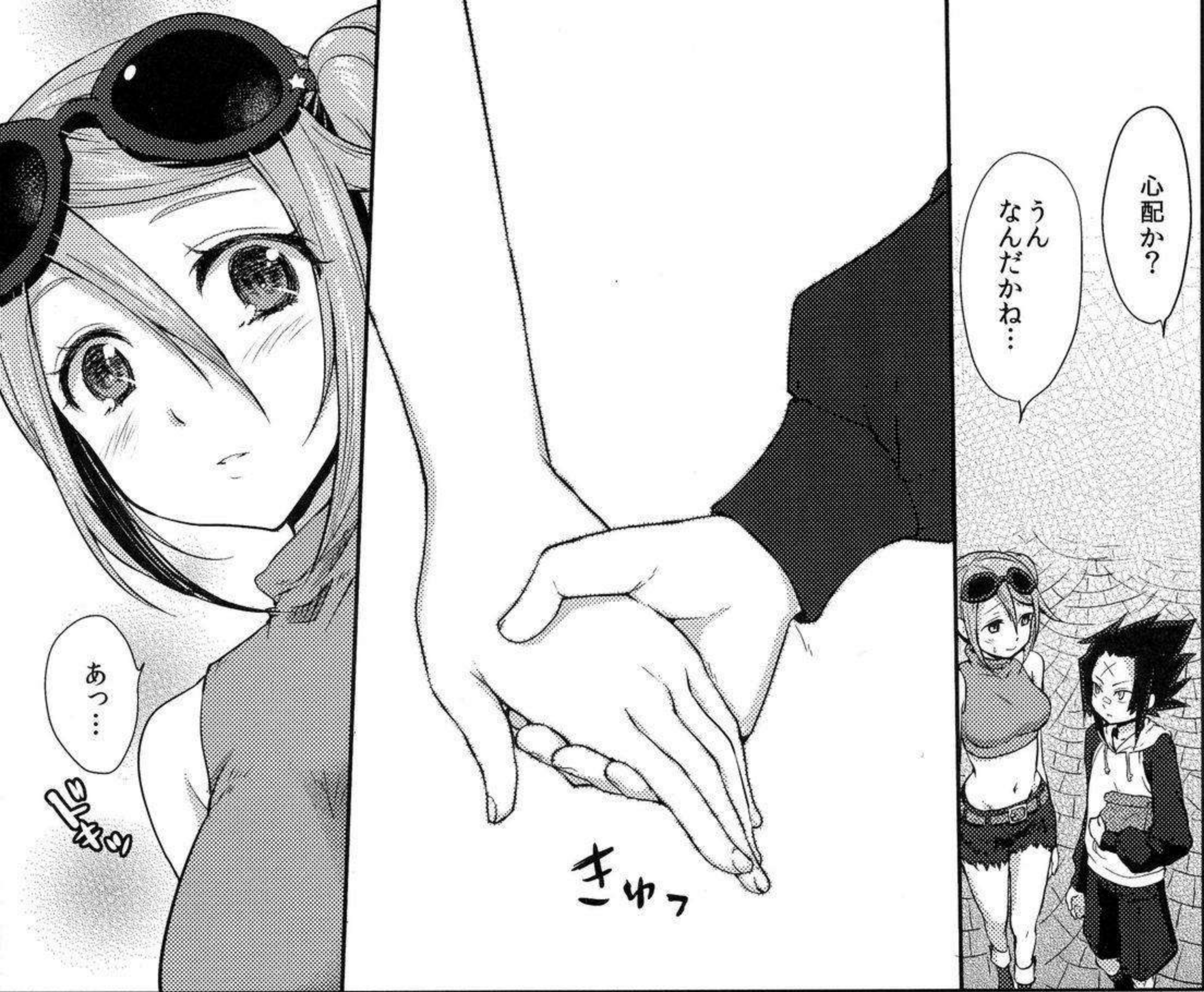
気にすんなよ
どうせ誰かから
恨み買ってた
連中だろ

オレ達には
関係ねえって

うん…



あーさん



オレ
カナエのこと
守るから



絶対に



…うん

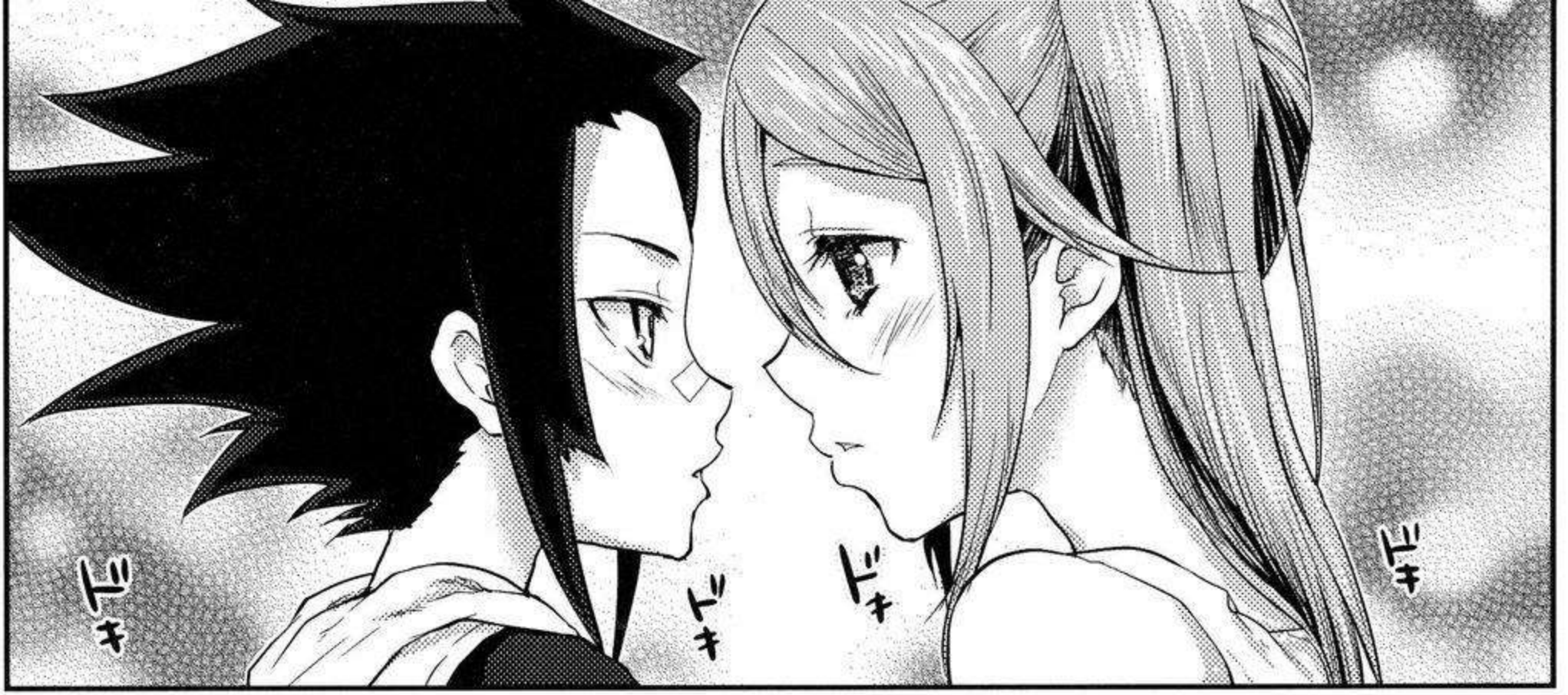
ありがとう



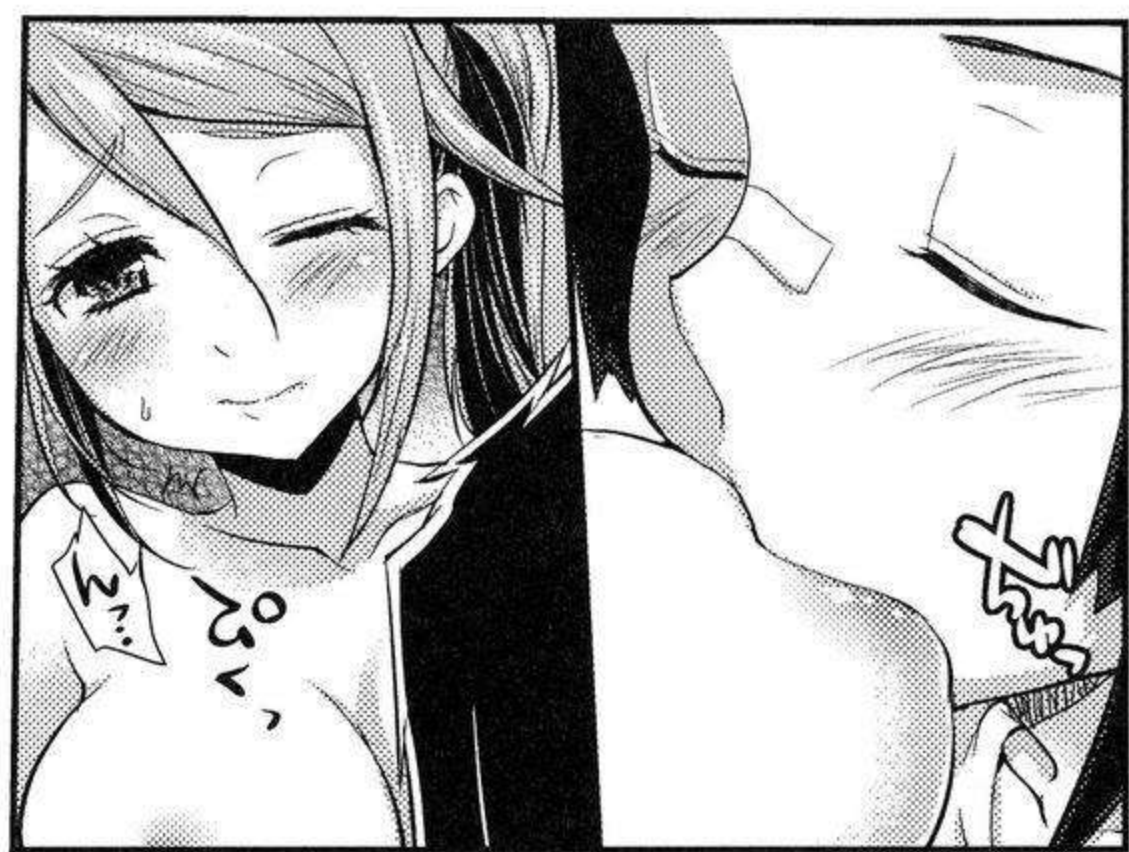
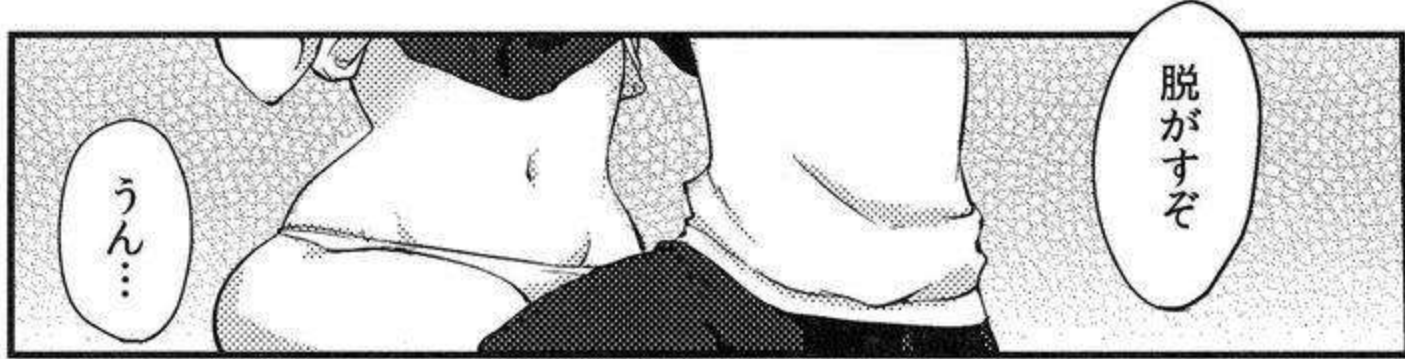


karma



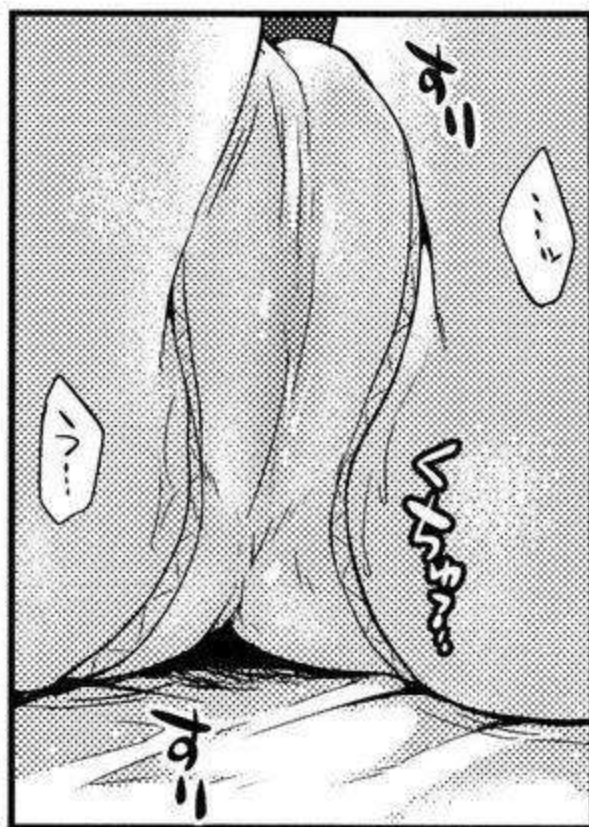








今日のアガタ
なんかやらしい...



...イヤか?

えっ
全然イヤじゃ
ないけど...







うわッ!!!
なんたこれ
ヤバイ!

動くたびにし
表情変わるし
胸すっげえ
揺れてる...

ねッ...
アガタ...

ツ何だ?!

きもち
イイ...?



隠さないでくれよ
もつと見たい

……うん

……



気持ちいいし
：カナエが
よく見えて
楽しい
えっ

あっ……
わあ



アガタ

アタシに
やってほしい
ことがあったら
ちゃんとやってね



……!!

キヤッ



アガタのしたいこと
全部してあげるから……



あつ...
えっ...
大きくなつて...

おっ...お前が
変なこと
言うからだぞ!



あつ...ダメ
きちやうう...

そんな
締め付けられたら
でちまうつて!
抜けよ!

やっ...動かしちや
ダメえ...!



アガタ!

言ったでしょ
ちよつと待って…!



お願いだから!



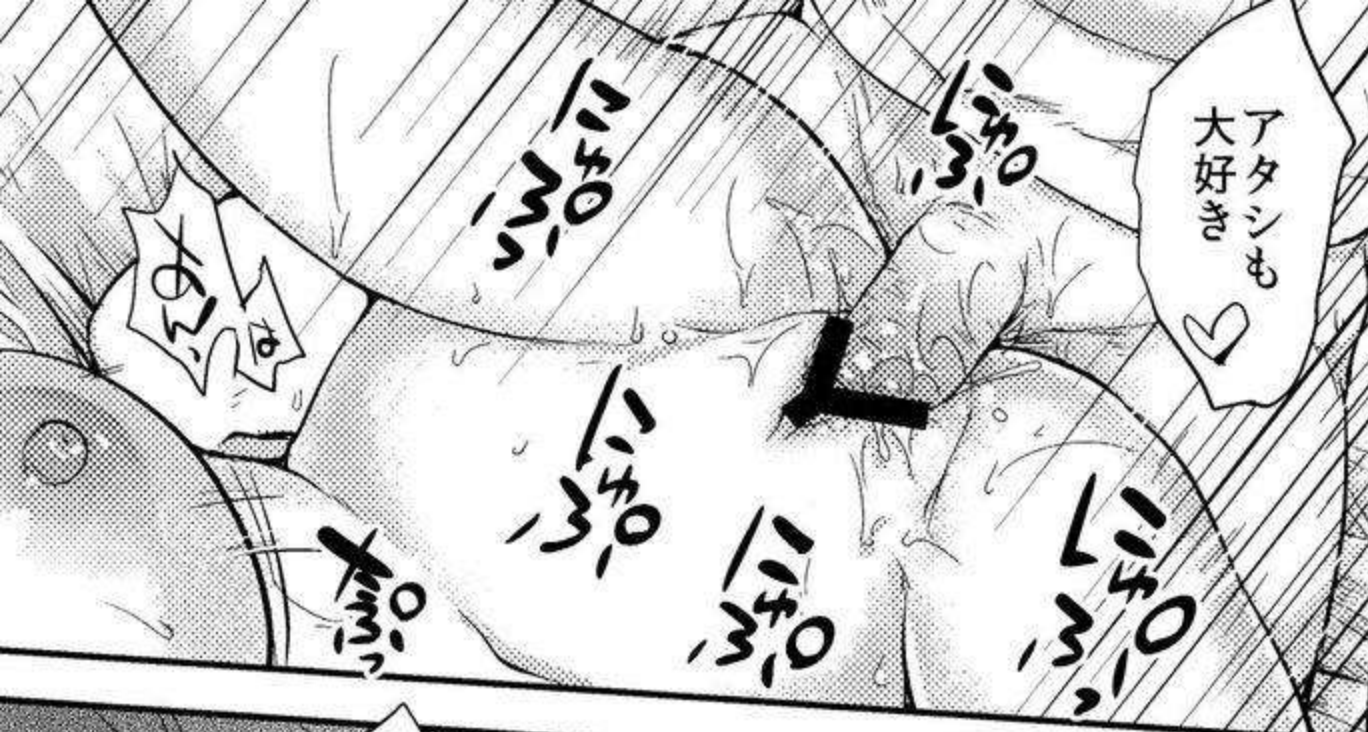
カナエ!



カナエ
好きだ!

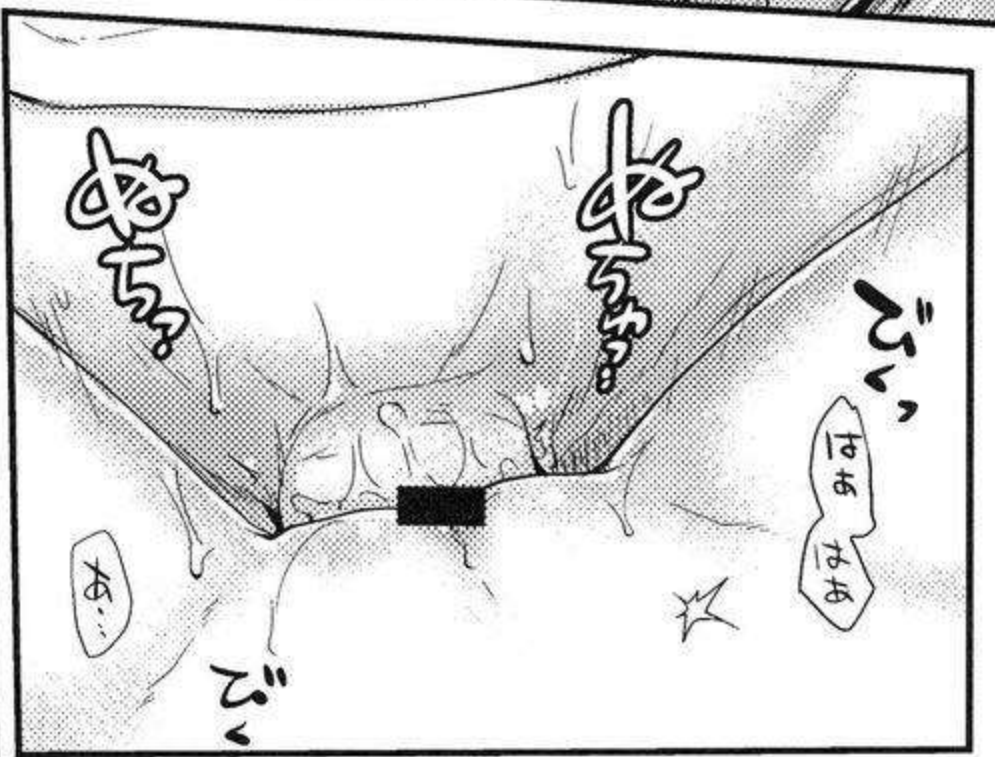
全部オレの
だからな!

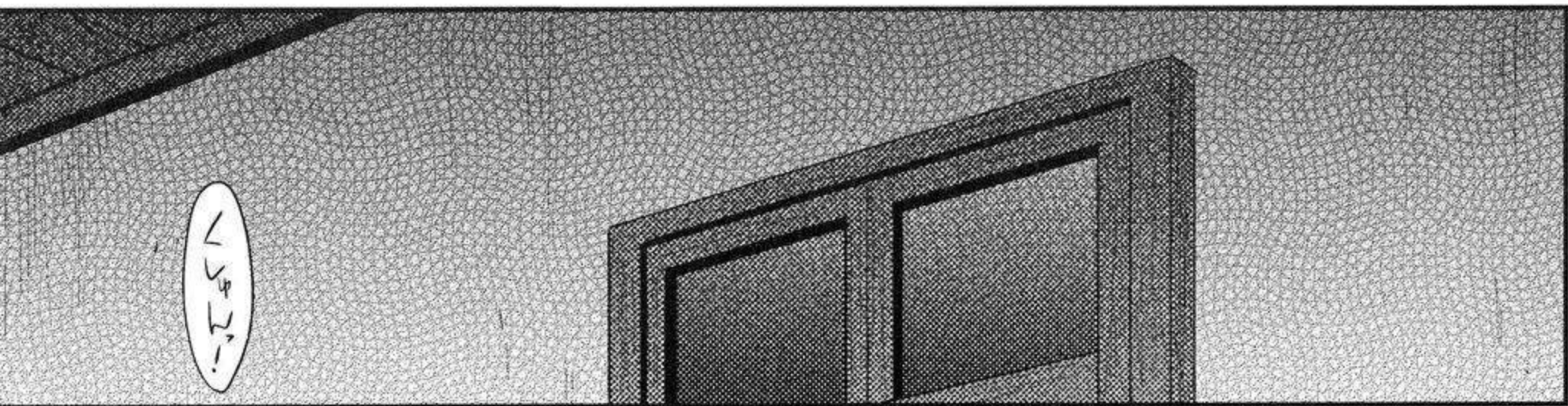
他の男になんて
絶対…!



カナエ…ッ
オレもう…!





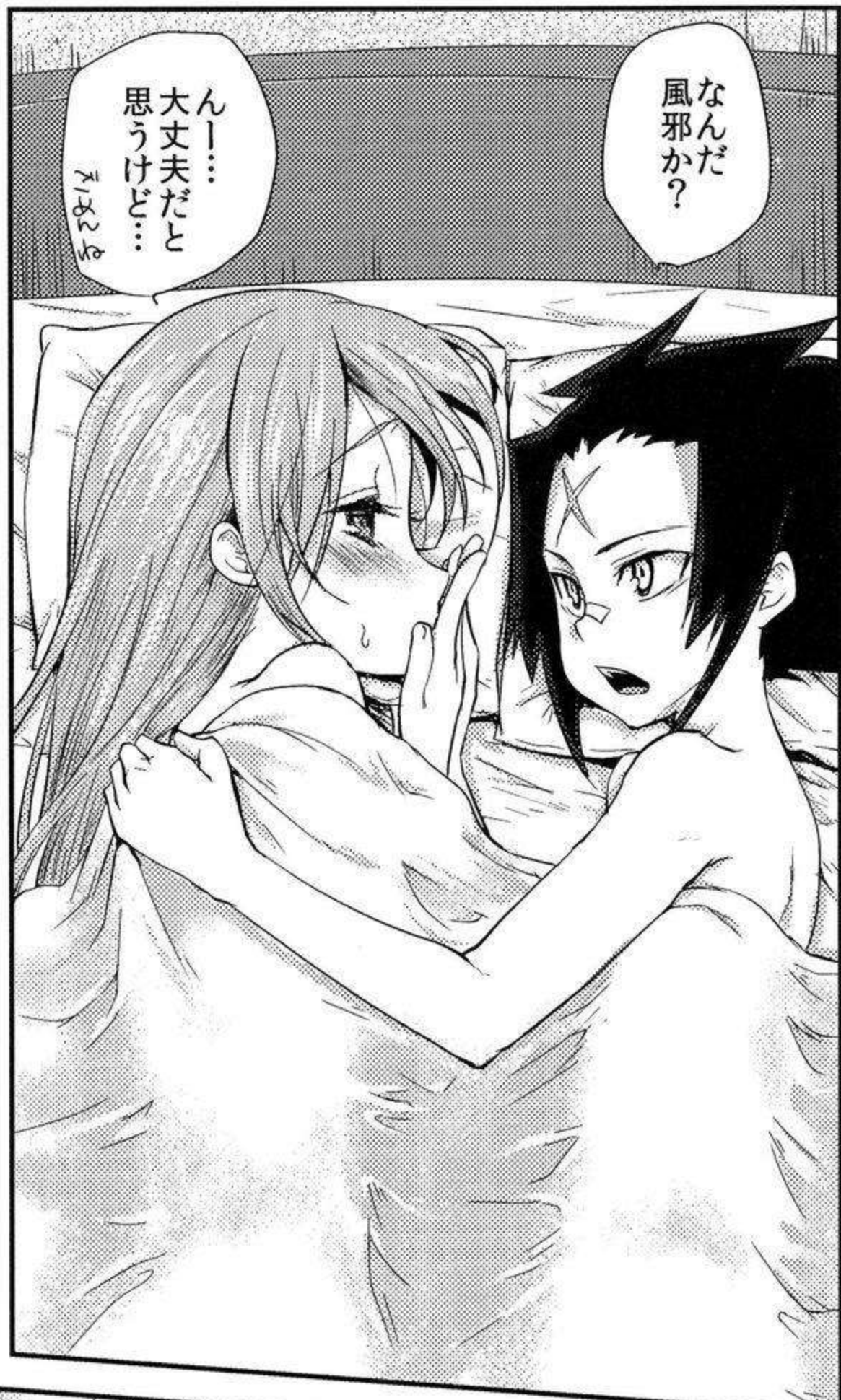


くさくさ



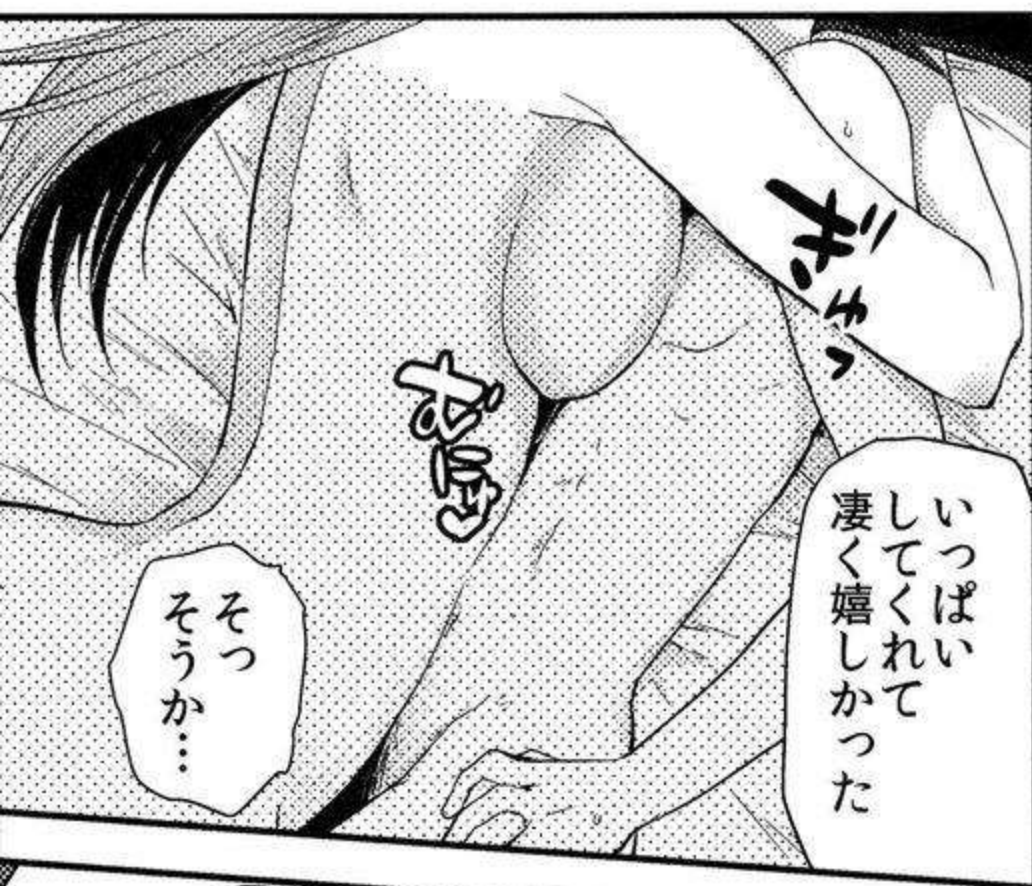
…無理
させちまったか？

ううん
そんなこと無いよ



なんだ？
風邪か？

んー…
大丈夫だと
思うけど…
スミヤ



いっぱい
してくれて
凄く嬉しかった

そっ
そうか…



…
カナエ

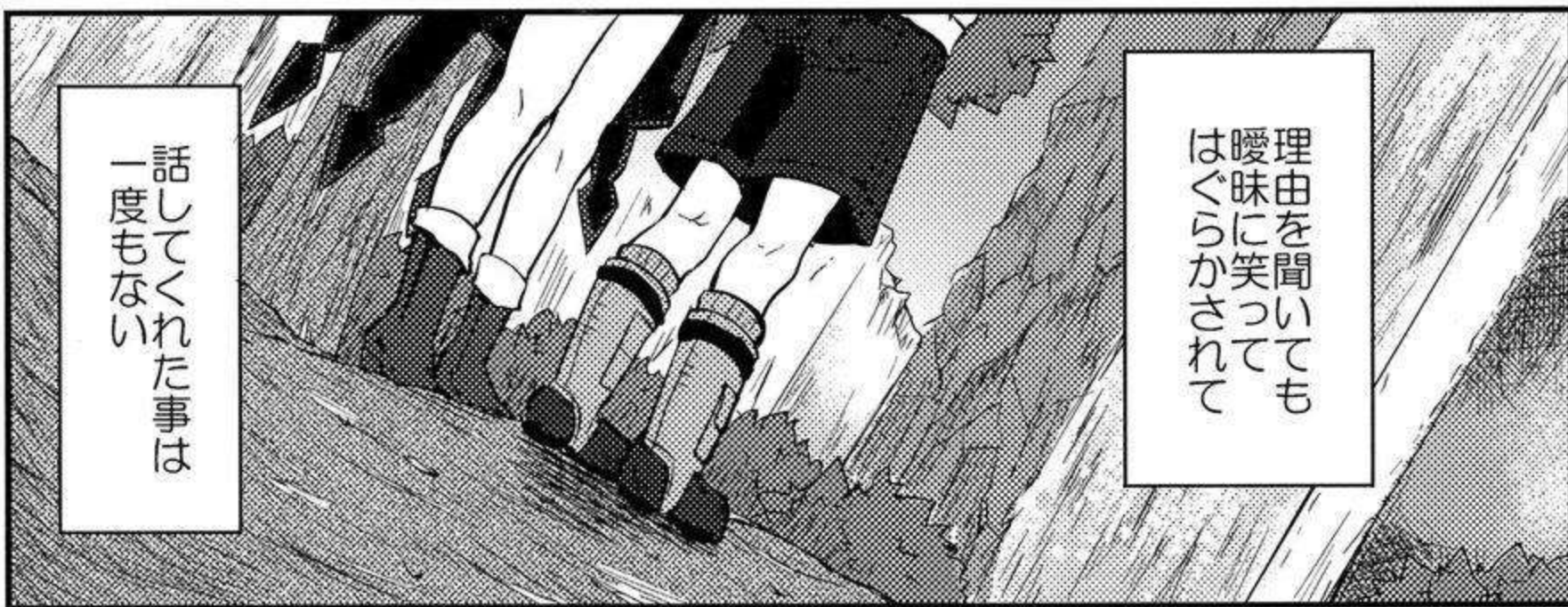
なあに？

ナニ…





アガタは時々
ひどく真剣な
顔をしている



理由を聞いても
曖昧に笑って
はぐらかされて

話してくれた事は
一度もない



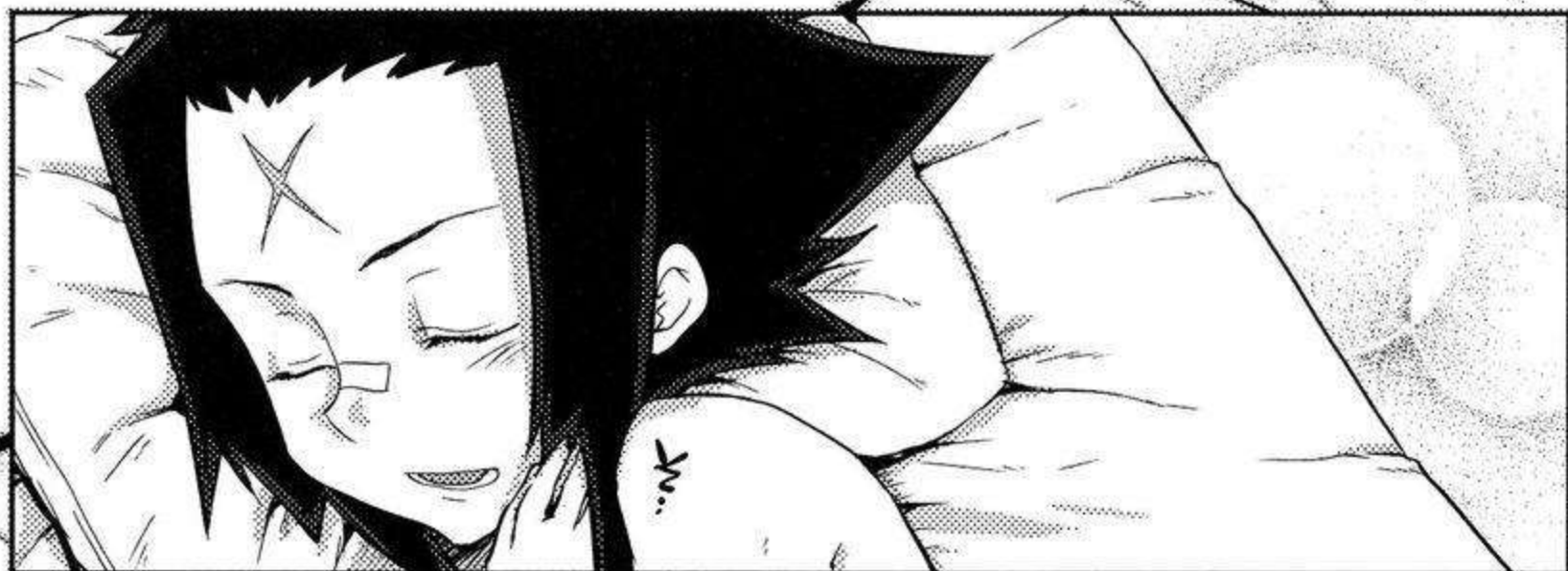
きっとたくさん
の事を
一人で抱えている

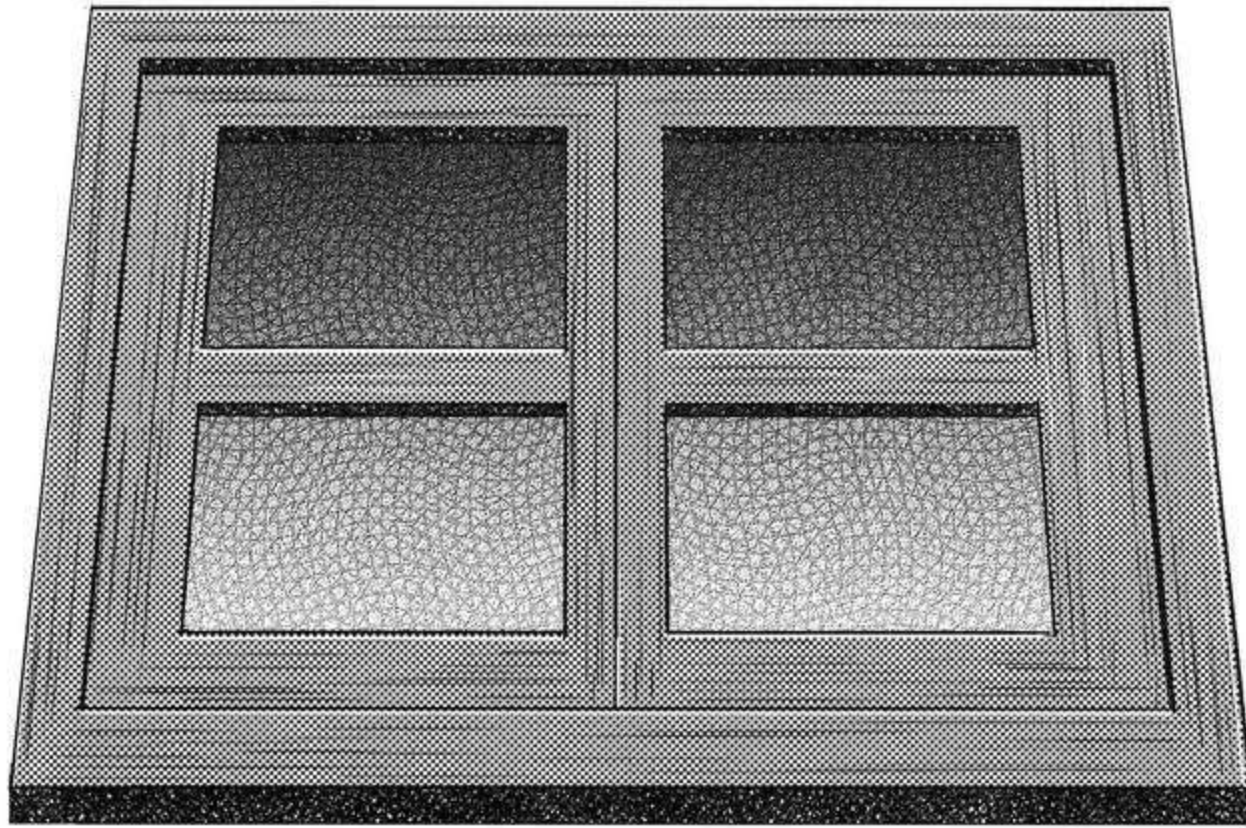
アタシには話せない
大変で重要なこと…



いつもありがとう

アタシも…
アガタのために
強くなるからね







サーロ
イツたらまた
ヤられちまうぞ？

頑張れー

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

ズンズン



ズンズン

ズンズン



あーあ折角の
チャンスをも
棒に振っちまったな

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

まあその頑張りに
免じてイイモン
くれてやるよ



ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン



なんだ強い酒は嫌いかな？
そりゃあ悪かったなあ
ギャハハッ！

ズンズン

ズンズン



ん？
ケツ穴
ヒクついてんじゃ
ねえか



欲しかったんなら
素直に言う言えよ
我慢は良くねえぞ？



膣内が熱くなって
こりやいいいぜ…




アナルほじられながら
マンコに指突っ込まれて
イッてる姿よく見てもらえよ



乳も柔っこくて
良い具合だな
つい出しちまったよ

それにしても
見れば見るほど
弄りがいのある
顔してやがる

もっとやりたく
なっちまうぜへへ...



もし！
カナエさんたちが
四層まで到達したら

…まあ同じように
酷い目に合ってる
と思います

2x



アガタ……っ

もっぢぢぢぢ……した……っ

おっ

おう……!

ん……っ

?



うッ



CHANGE!

2013.12
Kgt.

あとがき

お手にとって下さりありがとうございます、風吹ぽにです。
およそ3年ぶりのカナエ本でしたがいかがだったでしょうか？
描きたいものを詰め込んだら陵辱と和姦のごった煮で
凄いページ数になってしまいました。が楽し
んで頂けましたら幸いです！

カナエはヘソから脚にかけてのイメージが凄く強かったので
前半は珍しくアナル多めの内容になりました。
楽しかったのですが同時に難しくも感じたので
今後色々研究していきたいと思えます！
後半は一転して純愛感が出るように頑張りました。
青臭い感じの恥ずかしさが出てたらしいな〜と…！

そして素敵なゲストさまをお招きいたしました！
フカビトにフックされる鬼畜エロスを
描いて下さった2xさん、アレンジが素敵で
セクシーな二人を描いてくださったキグチさん
初々しい純愛を描いてくださった南☆さん
本当に有難うございます！どのカナエも可愛くて
ニヤケが止まりません！

それではこの辺りで失礼致します。
また別の本でお会いできたら嬉しいです！

風吹ぽに。

あつた
部
着
て
ほ
い



発行 風のごとく！
著者 風吹ぽに
発行日 2013・12・31
印刷所 プリントウオーク

WEB <http://lkwin.x.fc2.com/>
MAIL buchi_koneko@yahoo.co.jp

18歳未満の購読禁止
無断複写、転載はご遠慮願います

Presented by
kazemazodoku!

For adults only

